

「新7つの課題」概要

2026.1.22

・以下の内容は現時点のドラフトであり、今後詳細を議論する中で変更される可能性がございます。

「新7つの課題」	当面のゴール(案)と取り組み例
①重要資源・部品の安全保障 …資源・部品不足による「作れない」をなくす	⑥ ほとぼりが冷めても後戻りしない BCP の仕組み構築 (リスク評価～対応検討～調達行動) <ul style="list-style-type: none">・業界としての、足下の資源調達の対応力強化・競争・協調の明確化と、業界としてのコミット具体化
②マルチパスウェイの社会実装 …50年CNに向け、マルチパスそれぞれで脱炭素商品の普及を目処付け	⑦ WtW を前提に、50年CN達成に向けた BEV・CN 燃料車・FCEV それぞれの CO2 削減施策具体化 ⑧ 各動力・エネルギーへの投資予見性を高める 実装PJTの立上げ <ul style="list-style-type: none">・各動力の CO2 削減量を評価する指標の統一 (=WtW)・関連業界が投資に踏み切るための環境整備・コミット具体化
③CEの仕組みづくり …経済安全保障・環境対応に向け部品・資源を使い倒す仕組みを構築	⑨ 静脈産業の事業化(社会実装)に向けた モビリティ産業としての指針明確化 <ul style="list-style-type: none">・各材料(電池・樹脂・非鉄など)の静脈商流における課題整理・再生材仕様・データ基盤等の標準化・国内循環に必要な支援制度の具体化
④人材基盤の強化 …安定した開発・生産・販売・サービスに向けて、継続的に人材が確保・育成される仕組みを構築	⑩ 生産現場・ソフトウェア人材等の確保に向けた 打ち手の明確化 <ul style="list-style-type: none">・自動車産業におけるソフトウェア人材不足の真因具体化・産業の魅力訴求・採用増に向けた、生産現場の働き方改革
⑤自動運転を前提とした交通システム確立 …安全・安心な交通社会に向けて車両・人・インフラ三位一体で仕組み構築	⑪ 交通システム基盤の社会実装に向けた規格統一 <ul style="list-style-type: none">・統一すべき交通システム基盤の明確化(通信・運行管理等)・関係省庁・業界横断での議論の枠組み整備・自動運転の社会実装時期や具体的進め方の官民合意
⑥自動車関連税制抜本改革 …簡素化・負担軽減でユーザーに納得感のある税体系へ	⑫ 今回の税制大綱で示された「簡素化・負担軽減」の道筋のさらなる具体化 <ul style="list-style-type: none">・官民での議論を通じた、重量税の暫定税率の税体系全体の中での扱い具体化・BEV・FCEV・軽など異なる領域を公平に扱う仕組みの具体化
⑦サプライチェーン全体での競争力向上 …電動化・知能化や労働力不足に対応し、競争力を高めるべくSCを再構築し、現場の余力を拡大	⑬ 戦略的水平分業として、OEM間の仕様標準化・協調領域拡大 <ul style="list-style-type: none">・エンジン(部品標準化)・半導体(仕様/情報基盤標準化)・物流(共同物流の仕組化)